

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	5
サポートクラス	カンナギ	Lv.1:	カンナギ	性別	女
称号クラス				年齢	14
種族	ヴァーナ			境遇	義理の親
出自(効果)	前科者			目標	修行

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	17	13	12	6	10	10	9
ボーナス	5	4	4	2	3	3	3
クラス修正	1	1	1	0	1	1	1
他修正							
能力値	6	5	5	2	4	4	4

HP	68
MP	49
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	バルチザン	至近	-1	11	0	0	0	-2	0
左手	ハードシールド		0	0	0	8	0	-1	0
頭部	グレートヘルム				-1	4			
胴部	セイグリッドローブ					4	4		
補助	ファインポイントアーマー				-1	5			
装身具	手入れ道具								
能力値			5	0	5	0	4	9	11
スキル	ウエポンルーラー		2					1	5
その他									
総計(右)			6	11					
総計(左)			7	0	3	21	8	7	16
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	5			5	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	バックパック
小型ハンマー	ポーションホルダー
くさび×3	野菜
チョーク	ウエポンケース
筆記用具	ランシア
毒消し×2	
HPP×4	
MPP×5	
HMPP×3	
ベルトポーチ	
小道具入れ	

現在重量: 13 所持金: 2300 預金・借金:

最大重量: 22

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オーバーパス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	狼族、移動力+5m、行動値に+1							
バッシュ	3	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果:	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
ボルテクスアタック	1	-	効果参照	-	自身	自動成功		
効果:	このスキルはメインクラスがウォーリア、およびその上級クラスでなければ使用できない。武器攻撃と同時に使用する。そのスキルを「対象:単体※」に変更し、ダメージに+CL×10]する。1シナリオに1回使用可能。							
カバリング	1	2	ダメージロールの直前	至近	単体	自動成功		
効果:	対象にカバーを行う。							
カバームーブ	1	4	《カバームーブ》	-	自身	自動成功		
効果:	《カバリング》と同時に使用する。《カバリング》を20mに変更する。1シーンにSL回。							
スマッシュ	1	5	マイナー	-	自身	自動成功		
効果:	白兵攻撃のダメージに+【筋力】							
ウエポンガード	1	4	ダメージロールの直後	-	自身	自動成功		
効果:	受ける予定の物理ダメージに-[武器の攻撃力÷2]							
ウエポンルーラー	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	命中判定の達成値+[SL+1]							
コールゴッド:カグツチ	4	5	マイナー	-	自身	自動成功		
効果:	《セイグリッドダンス》の効果中のみ使用可。攻撃のダメージに[SL×4]							
セイグリッドダンス	2	6	メジャー	-	自身	精神		
効果:	判定+1D。クリンナッププロセスごとに【MP】を5点消費し続ける限り、シーン終了時まで持続。1シナリオSL回。							
チャネリング	1	6	セットアップ	-	自身	自動成功		
効果:	《セイグリッドダンス》を同時に使用することが出来る。							
ゴッドマスターリー	1	-	メジャー	-	自身	自動成功		
効果:	「格闘」「短剣」「長剣」「両手剣」「斧」「槍」「弓」、いずれか1つの《アームズマスターリー》を取得する。シナリオ終了まで持続する。フェイト1点消費する。							
	1							
効果:								
	1							
効果:								
リムーブトラップ	1							
効果:								

PC②用ハンドアウト
コネクション: ナム=サーン 関係: 師匠

君は蓮命神社の巫女長、ナム=サーンの下で修行を続ける見習い巫女だ。厳しい修行をおよそ0年。(具体的な年数はPCが決めて良いものとするが、最低でも3年とする) ようやく一人前の巫女として認められると思いきや、最後の試験があるとナムは言う。「巫女たる者、人を救えなければ一人前とは言えない」というわけで、一年間冒険者として働く羽目になるのだった。

設定
彼女は、物心つく前から、山賊の手下として、働いていた。(街道、山道一人で泣いて、心配して話しかけてきた旅人等が声をかけてきたとき、山賊が不意打ちで襲いかかる、といった内容の図役) 後で聞いた話によると、そのために誘拐してきた子供の一人だったらしい。道ばたで殴られて、泣かされ、目の前で人が殺され……おびえ続けていた、そんな日々。ある日、その生活が一変する。拠点を持って目立つ山賊行為をしていた一団は街道の治安を害するとして、藩が討伐部隊を編成し捕物を行うこととなった。その結果、首領および幹部の一部は逃げ出したが、残りは彼女も含めて捕まってしまう。(中略) その後、いろいろあって放免されたが、元の親も知らず、行く当てのない彼女は、ナム=サーンの厚意から神社預かりとなった。はじめは、またいじめられたりするようなことがあるのではないかとおびえていたが、温かいごはん、他の巫女やナム=サーンの優しさから警戒を解いていく。(中略)そして、今までのことを悔い改め、一人前の巫女を目指して修行を始めたのだった。(ハンドアウトへ続く(お))

